

市議会だより

6月定例会

- 平成28年度一般会計補正予算を可決
- 市税条例一部改正など可決、承認

目次

議案の審議	②・③
委員会の審査	④
議決結果・人事案件	⑤
市政に対する一般質問	⑥～⑧
意見書・視察受け入れ状況	⑨
市議会案内板	⑩



議案の 審議

6月定例会が開催されました

6月定例会は、6月3日から17日までの15日間開かれ、市長提出議案14件、議員提出議案3件について審議を行い、すべてを議決いたしました。

○の中の数字は議案番号(順不同)

六月定例会

市長提出議案

④7 専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

④8 新築住宅等に対する固定資産税の減額の規定について。

熱損失防止改修(省エネ改修)工事で新たに補助金等をもちつて工事を実施した場合、工事費用の対象の金額が五十万円以上の工事が対象となり、この補助金を控除して判定を行う。

④9 専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)

地方税法等の一部改正に伴い、本市においても同様の措置をとるため提案するもの。

④ 軽減措置が拡大されるが、本市の対象人数及び軽減額は。

今回の対象となる五割軽減及び二割軽減の合計で、軽減対象人数は約六千三百五十

人、軽減額は約六千八百七十万円である。

⑤0 飯能市税条例等の一部を改正する条例

地方税法等の一部改正に伴い、所要の改正を行うため提案するもの。

⑤1 特定一般用医薬品等の購入に係る医療費控除の特例措置とは。

健康診断や予防接種などの取り組みをした方が、生活習慣病等に対して療養の給付として支給される薬剤、代替性の高い医薬品を購入した場合、その購入対価を支払った場合にその支払った費用が対象となる。

一万二千円を超える部分が対象となり、超える金額が八万八千円までが対象となる。これまでの医療費控除と選択していたが、二重適用はできないということで、選択制の規定となる。

⑤2 この医療費控除の特例措置は何を目的に導入されたのか。

医療、介護需要の増大をできる限り抑えつつ、国民の健康寿命が延伸する社会を実現するために国民みずから自己健康管理を行うことを推進することが重要であると位置づけられたことである。これに

ついては薬局や薬剤師を活用した中でセルフメディケーションと呼ばれる自己治療の推進を行うための制度を考えたというところであり、税制面においてバックアップするというものがある。

⑤2 飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、小規模保育事業所A型及び保育所型事業所内保育事業所に配置しなければならぬ保育士の数の算定に当たり、当分の間、保育士資格を有しない一定の者を保育士とみなすことができる特例を設けるなどのため提案するもの。

⑤3 保育士等の資格を持った保育士と同等と市長が認めるという場合の基準は。

埼玉県が行う子育て支援員研修を受講して終了した方に市長が認める者という形で考えている。研修内容は、共通科目、専門科目、あるいは実習を通して全部で八日間の研修を終了した者ということ。

▼討論▲

反対の立場

新たな給付型は、民間企業が保育分野へ参入できる仕組みがつけられ、保育士の配置基準や資格要件が大幅に緩和され、後退するという点である。施設型給付には三種あり、その一つが地域型保育事業の関係で四種類となっている。その内の小規模保育事業の保育士の配置基準は、認可保育所と比べてA型はほぼ同じ配置基準、保育士資格者に限定しているが、B型は国基準の五割でよい、C型は無資格で家庭的従事者でよいとしている。しかし、限られた職員や環境であることから高い専門性が求められる、むしろ基準を引き上げることが求められる。待機児童問題は解消できなく、保育の質の低下をもたらすという点で、反対する。

賛成の立場

保育の受け皿が不足していることに鑑み、特例を設けることでそれぞれの事業に見合った人材を配置し、家庭的保育事業等の開設を希望する事業者の参入を促すとともに、保育の質を落とさないように配慮しつつ、保育士が行う業務についての要件を一定程度柔軟化することにより保育の担い手の裾野を広げるものであり、保育士の勤務環境の改善にもつながるものと期待されているので、賛成する。

⑤3 飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、放課後児童支援員の資格要件に義務教育学校の教諭となる資格を有する者を加えるため提案するもの。

問 放課後児童支援員の状況は。

答 市内には十五ヶ所の児童クラブがあり、七十四名の支援員がいる。内訳は、保育士が十六名、幼稚園は六名、小学校教諭三名、中学校教諭は五名、高校教諭は三名、二年以上の経験をした有資格者が四十名、その他一名である。

問 義務教育学校とは。

答 小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う新たな学校の種類として学校教育法に規定され、今年の四月一日から施行されたものである。心身の発達に応じて義務教育として行われる普通教育について、基礎的なものから一貫して施すことを目的としている。新教科を創設したり、学年を前倒して先取り学習を実施したり、地域の実情等に応じた柔軟なカリ

キュラムを編成することが可能となっている。

⑤4 平成二十八年度飯能市一般会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ一億九百十五万二千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ三百六億五千九百十五万二千円とするもの。

問 一次募集の地方創生加速化交付金の不採択の理由は。

答 国による採択については、自立性、官民協働、地域間連携、政策関連連携等を着眼点とする先駆性のある事業ということで、これらを評価項目ごとに採点されたようである。これらについて先駆性が認められなかったということで、不採択となったというふうに考えている。

なお、二次募集では、地域間連携、政策関連連携をさらに強化し、また地域の稼ぐ力、これを醸成するというところで事業の組み立て直しをしている。

問 どのように人権教育研究事業が行われるのか。

答 平成二十八年度、文部科学省の人権教育研究推進事業を受けた埼玉県が人権教育研究指定校事業として富士見小学校に指定したことによって実施す

る事業である。児童同士の学び合い学習により、一人ひとりの自尊感情を育みながら互いに認め合い、高め合うという人権感覚の視点を取り入れた学びの形づくりの研究となっている。



⑤5 平成二十八年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第一号)

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ九十万円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ六十二億四千三百九十二万円とするもの。

問 障害年金や遺族年金といった非課税になっていたものが、課税とみなされるとい

とであるが、その中身は。

答 八月一日から非課税年金、遺族年金や障害年金も含まれるようになり、収入額などの合計が八十万円を超える方が第二段階から第三段階の一段上に位置づけされるといったことである。

討論
反対の立場

低所得の施設利用者の食費、居住費を補填する補足給付の給付額の決定に当たり、非課税年金である遺族年金、障害年金を収入として勘案するというもので、その結果、所得段階が第三段階に上がり、食費、居住費の軽減措置の上限が上がることで、補足給付の縮減となり、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、在宅でショートステイを利用する人も対象となるため、反対する。

賛成の立場

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設及びショートステイの利用において、本来であれば利用者本人が負担すべき食費、部屋代について、所得の低い方たちに負担限度額を設け、本人の収入判定に使われる年金収入の範囲を変更に、非課税年金である遺族

年金や障害年金もこれに含めるという制度改正によるものである。この収入判定の方法の変更は八月から全国一律の取り扱いとなり、非課税年金だけが優遇されているという不公平感があり、それを受けての税制改正であり、賛成する。

⑤6 平成二十八年度飯能市水道事業会計補正予算(第一号)

県補助金が三百四十二万八千円から二千七百八十四万円に増額となるもの。

問 補助金の内容については。

答 地震対策等の地域指定があり、埼玉県全域が指定されている。条件は配水管、送水管、導水管の更新事業ということになっている。既に当初予算で計上している八幡町地内の配水管布設工事、仲町地内の配水管布設工事、東町地内の配水管布設工事に補助金を充たさせていた

問 年間の事業計画が出されているが、補助金が入ったことにより、老朽管の布設替えを少し延伸できるのか。

答 補填財源を減らして、今年度の事業の管路の延伸については、当初の計画どおりの延長と考えている。

委員会の

審査

議会に提出された議案や請願は、専門的に、より詳しく審査をするため総務、厚生文教、経済建設の3つの常任委員会に付託されます。6月定例会の主な審査内容は、次のとおりです。

○の中の数字は議案番号(順不同)

総務委員会

●47 専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)

●固定資産税の家屋減額申請状況について、省エネ改修の実績について、平成二十八年度は六件、減額は四万九千円であること。

●たばこ税の申告状況等は、旧三級品については、経過措置で対応しており、四段階に分けて課税していくものであり、平成二十八年度が第一段階になる。今回は、千本あたりの税率との差額四百三十円が引き上げられるもので、今回の経過措置による影響額は約二百万円を増額を見込んでいること。

●50 飯能市税条例の一部を改正する条例

●健康診断や予防接種など日常的に一定の健康への取り組みをしている方が、特定の医療品を購入することにより、結果的に病気の予防や改善につながる医薬品の購入が対象になること。

●54 平成二十八年度飯能市一般会計補正予算(第一号)

●商工会議所からプレミアム付き商品券の未換金分を寄附して

もらい、二千百二十六枚の未換金があり、そのうちプレミアム分三十パーセントを除いた金額となっており、未換金額百六万八千円の内、プレミアム分は、二十四万六千四百六十二円でこの額を国へ返還し、販売代金の八十二万五千五百三十八円が今回の寄附金額となること。

プレミアム付き商品券



厚生文教委員会

●52 飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●小規模保育事業型A型と定員二十人以上の保育所型事業所内保育事業において、当分の間、幼稚園教諭、小学校教諭、養護教諭の免許を有するものと、一日八時間を越えて開所する場合には、開所時間を通じて必要となる保育士の数と利用定員に応

じて置かなければならない保育士との差の範囲において、保育士と同等の知識や経験を有すると市長が認められた者を、全体数の三分の一を超えない範囲で保育士とみなすことができること。(反対討論あり)

●53 飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

●学校教育法の一部を改正する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、省令の放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準が改正され、放課後児童支援員の資格要件に義務教育学校の教諭が新たに規定されたため、同基準の規定を引用している、本条例の一部を改正するものであること。

●55 平成二十八年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第一号)

●介護保険制度改正の内容について、介護保険施設やショートステイを利用する際の食費・部屋代について、負担軽減を図るための負担限度額の設定における収入判定において、平成二十八年八月から、非課税年金である遺族年金と障害年金も含めることとなったため、システム改

修すること。

(反対討論あり)

経済建設委員会

●54 平成二十八年度飯能市一般会計補正予算(第一号)

●飯能市全体の公共交通の考え方については、今後協議会を設置し、市民の皆様、地域、交通事業者などの方々を含め、これからの公共交通機関をどう守り、育て、つくっていくのかを検討すること。

●飯能住まいを広く効果的に訴求するためのポスター作成にかかる経費とともに、飯能住まいを疑似体験できるような移住体験ツアーの企画立案に関することを行うこと。

●空き家実態調査の結果を受け、所有者の特定と意向調査、データベース化等を実施するための経費を計上すること。

●老朽管更新工事に係る県補助金については、当初、生活基盤施設耐震化等交付金のうち、基幹水道構造物耐震化事業のみが対象となっており、平成二十七年以前に採択された事業が対象であったが、全国の自治体から老朽管更新事業に対する要望が多かったため、平成二十八年度に限り認められたこと。

平成28年6月定例会 議決結果

賛否が分かれた議案

※表の見方：議案番号の「議提」は議員提出議案の略、○は賛成の議員、×は反対の議員


議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果
		1 栗原 義幸	2 中元 太	3 大津 力	4 野口 和彦	5 滝沢 修	6 山田 利子	7 新井 巧	8 金子 敏江	9 内田 健次	10 平沼 弘	11 (欠員)	12 加藤由貴夫	13 砂長 恒夫	14 鳥居 誠明	15 松橋 律子	16 加涌 弘貴	17 梶田 博之	18 野田 直人	19 武藤 文夫	
52	飯能市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決
55	平成28年度飯能市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○		○	-	○	○	○	○	○	○	原案可決

※砂長恒夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

全会一致の議案等

議案番号	議案名	議決結果
47	専決処分の承認を求めることについて(飯能市税条例等の一部を改正する条例)	承認
48	専決処分の承認を求めることについて(飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例)	承認
49	専決処分の承認を求めることについて(飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
50	飯能市税条例等の一部を改正する条例	原案可決
51	飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例	原案可決
53	飯能市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
54	平成28年度飯能市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
56	平成28年度飯能市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
57	市道路線の認定について(大字双柳地内)	原案可決
58	市道路線の認定について(大字川寺地内)	原案可決
59	契約の一部変更について	原案可決
	特定事件の閉会中における継続調査申し出の件(総務委員会・経済建設委員会)	申出書のとおり
	議員派遣の件	派遣
60	公平委員会委員の選任について(井上 孝治)	同意
議提2	飯能市議会基本条例の一部を改正する条例	原案可決
議提3	骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書	原案可決
議提4	食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	原案可決

議員35年以上




武藤 文夫議員

議員表彰

全国・埼玉県の各市議会議長の定期総会において、三十五年以上市議会議員の職にある者として、武藤文夫議員が、十五年以上表彰を加藤由貴夫議員、砂長恒夫議員、鳥居誠明議員、滝沢修議員が受けました。

また、加藤由貴夫議員は、四年以上正副議長の職にある者としても表彰を受けました。




井上 孝治氏

人事案件

公平委員会委員の選任について
公平委員会委員として、本橋勇造氏が任期満了となるので、新たに井上孝治氏を選任することについて、全員同意しました。

議員15年以上



滝沢 修議員

議員15年以上




鳥居 誠明議員

議員15年以上

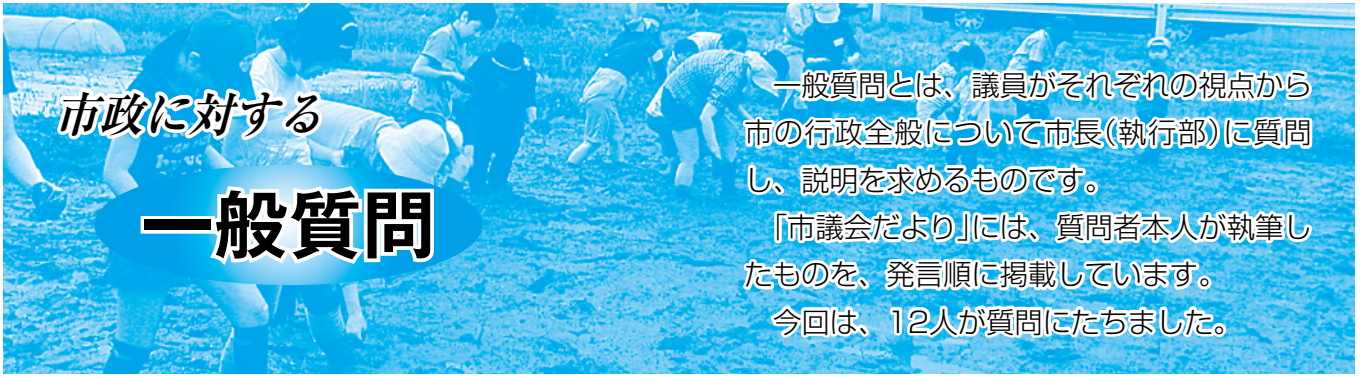


砂長 恒夫議員

議員15年以上
正副議長4年以上



加藤 由貴夫議員



市政に対する

一般質問

一般質問とは、議員がそれぞれの視点から市の行政全般について市長(執行部)に質問し、説明を求めるものです。

「市議会だより」には、質問者本人が執筆したものを、発言順に掲載しています。

今回は、12人が質問にたちました。

広域行政について 五市で政令指定都市を

野田 直人

問 平成二十六年年度から飯能市・所沢市・狭山市・入間市・日高市の五市で構成される埼玉西部消防組合議会が発足した。本年の職員数は八百六十二人を超え、埼玉県内では、政令指定都市であるさいたま市に次いで二番目の規模。広域行政事務組合では埼玉県内でトップの規模となる大規模な消防組合である。広域化については消防だけにとらわれることなく、将来的には埼玉西部消防局を構成する五市による政令指定都市

を目指すべきかと考える。構成五市の人口は、合計して約七十八万人に上る。現在の政令指定都市の二十市の中で人口が七十万人大の市は、静岡市、岡山市、相模原市、熊本市の四市となっている。人口規模だけ見れば、他の政令指定都市と遜色ない規模である。市長の考えをお聞きしたい。

答 政令指定都市のお話があったが、今後そのような動向が生まれてくれば注意深く見守っていただきたい。

「路面下空洞調査」実施を 「森林認証制度」の取得 「子どもの安全」

中元 太

問 空洞調査の有用性と市の見解については。

答 陥没事故を未然に防ぐ有効な調査。路盤の傷みや埋設管の老朽化等により、路面陥没も増えることが予想される。調査の重要性が増すと考える。

市民要望関係 防犯灯のLED化促進について

野口 和彦

問 現在の防犯灯の維持管理においては、各自治会が請け負う仕組みとなっており、大変市民負担の大きい状況です。近年の他の自治体では、ESCO方式による民間企業のリースを活用した導入事例が相次いでおり、市民負担の軽減や消費電力の削減、長寿命化によるコストメリットやCO2排出量の削減、何より初期投資が掛からないというメリットを実現しております。ESCO方式は、一斉にLED防犯灯に交

換する工事と、その後の十年間に渡る維持管理業務を合わせて行うもので、市は電気料金が下がった一部でESCO事業の費用として十年間分割して事業者に支払います。長年検討されている中、いよいよ実行しても良い時期です。翌年度から実施することを要望しますが、いかがでしょうか。

答 最適な方法を精査し、防犯灯のLED化を推進して参りたいと考えております。ご理解賜りますようお願い申し上げます。

鳥獣対策とジビエの進捗は メツア開園に道路インフラはどのようになるのか

梶田 博之

問 フィールドスポーツが盛んになってきたが、問題点は。

答 現在は凍結しているが、今後検討していきたい。

問 野牛食肉対策と活用の進捗はどうか。

答 野牛食肉対策と活用の進捗はどうか。活用については特にジビエを産業化できるようにオール飯能で取り組む体制を進めている。

問 久下六道線はどうするのか。

答 会員数の減少で維持管理が困難になってきている。明かりを絶やさずに防犯灯への切りかえを進めたい。

地方創生推進交付金の活用について 企業版ふるさと納税制度について

栗原 義幸

問 飯能市では第五次総合振興計画も策定され本格的な地方創生の取り組みが始まった。国でも地域再生法が改正され、地方創生に積極的に取り組む自治体を支援する新型交付金の活用が本市においても期待するところ。進捗とスケジュールを聞く。

答 新型交付金の交付要件として交付対象とする事業は総理大臣の認定を必要とする。本市では今年度の当初予算に計上した事業の中から交付対象として可

能性のある事業をパッケージ化し、認定へ向けて現在、内閣府と直接協議している。認定及び交付決定は八月から九月の時期が示されている。

問 企業版ふるさと納税制度もここで新たに創設された。本市の地方創生に民間資金の活用を見込むもの。取り組み状況を聞く。

答 地方創生応援税制であるこの制度は新型交付金と同じく対象事業の総理大臣認定が必要。事業の認定に向け全力を尽くす。

市長の基本姿勢について まちづくりについて

防災の課題について

鳥居 誠明

問 市政は職員に任せ、市長は外回りに専念するとは。

答 大きな外交で日本一の飯能市に。この十年間、飯能市は企業誘致二十七社、雇用が千四百八十人増、人口は三千七百人減。日高

市は七十七社で雇用が二千五百人増、人口は二千四百三十人増。飯能市はこれをどう考えるか。

答 他市がどうでは無く飯能市独自の政策が大切である。

問 要望学ぶべき事があれば学ぶべき。森林文化都市宣言をしている

答 関係部署と協議し検討する。

が飯能駅周辺に雰囲気がないが。

答 プロジェクトチームで検討する。

問 市街地に歩行者が休憩できる「せせらぎ」のある通りはどうか。

答 休憩施設を設置することは可能。

問 久下六道線の安全対策に電柱の撤去や一方通行については。

答 協議をしながら検討する。

問 市街地に避難所が足りないが、必要により、お手伝いをする。

答 耐震性のない避難所があるが、関係部署と協議し検討する。



ムーミンテemapark 情報共有と支援で地域活性化を

新井 巧

問 ムーミンテemaparkについて、市民にできるかぎり情報をオープンにして情報を共有し、市民が好感をもって積極的に協力しあえるような支援を望む。そこで、相談・支援窓口を明確にし、商工会議所や商店街、農家も含めて情報提供して関係者の支援と援助をしてほしい。フィニティック社と地方創生の協定書を交わしているので一方的な情報提供でなく、対等な立場で進めることが必要だが。

答 担当窓口は、地方創生推進室が行い、個々の協議は担当課が対応する。関係団体と連携を密にし、地方創生における観光振興をお互いに協力して進めていきたい。

問 飯能河原がこれまで以上に注目されるなかで、駐車場と周辺の遊歩道整備、既存のガードレールを趣きのある間伐材ガードレールに換えてほしいが。

地域創生について 山間地が目指す地域づくり (吾野・東吾野地域)

平沼 弘

問 地域創生について、地域資源を有効活用し人口増加を図るため、特色ある教育環境、若者向きの企業誘致、健康推進による交流人口の増加を基本に考案し、吾野・東吾野地域内に、

一、教育文化エリア(教育施設を集結させ、小中一貫、英語特区、自然文化教育を行う)

二、健康介護福祉増進エリア(東吾野医療介護センターと共に、健康推進スポーツセンターを開設し、健康増進、認知症等予防を行う)

三、ビジネス研修エリア(光ファイバー網を利用しIT企業を誘致し、若者の移住を促す、林業研修所を開設し、林業家の育成を目指す)

四、レクリエーションエリア(ラン・バイクトレイル等の専用コースを造る)

五、西川林業エリア(広域)という計画について伺いたい。

答 総合振興計画等の地域説明会を通じて、地域の皆様とひざを交えた話し合いをしたい。

国際興業バスの減便について 日本一の森林文化都市を目指して

内田 健次

問 今回の減便告知には驚いた。他の告知方法はなかったか。
答 市としても遺憾に思う。自治会連合会等各方面で利用者増を訴えたが、つながらなかった。
問 森林文化都市について質問するが、まず森林の役割は。
答 国土保全、水源涵養、地球温暖化対策等多面的機能があり、個人財産だが、公益的機能を考ええると社会全体で支えることが重要。
問 森林法改正後の施策は。
答 採算性を高める方向に見直しが行われたと認識している。

問 山で儲かる仕組みは。
答 打鍵策として戦略、営業力が重要。
問 集約化、機械化、路網整備は。
答 森林組合の経営改革の大きな柱として取り組みを推進する。
問 集約化には。
答 所有者の特定と境界の明確化が課題。
問 ウォスオンの取り組みについては。
答 ぜひとも検討したい。
問 認証取得は。
答 面積は広いほど価値がある。もくねん工房は。
問 方向性をともに考えたい。

ヘルプカード発行を

山田 利子

問 ヘルプカードとは、身体、知的、精神、および難病などの障害のある方が携帯し、自らの障害への理解や「助け」を求めるカードで、住所、医療情報、配慮してほしいこと、いざというときの対処情報まで記載されている。特に、内部障害など見た目ではわからない方が、困ったとき周囲に支援を求める際に有効である。埼玉県内でも現在六十二市町村中四十三市町で配布。障害のみならず高齢者にも有効であると美里町では各家庭に配布し

ているようである。飯能市の現状と取り組みはどうか。
答 飯能市も住所、氏名、緊急連絡先、服薬など、記入できるヘルプカードは障害者福祉課窓口にある。しかし、今お聞きしたような「ヘルプカード」は作成してない。周りに認識してもらうために、日頃からバックなどにつけておく「ヘルプカード」については、障害者福祉審議会等で検討いただくよう進めたいと思っている。



熊本地震から飯能市の教訓は 避難所の対応と運営について

滝沢 修

問 四月十四、十六日の二度の強い地震に見舞われた熊本地方は甚大な被害が発生した。大規模災害に対する教訓は。
答 熊本地震の教訓を受け、飲料水の備蓄を進めるとともに、井戸水が活用できないか調査・研究をしたい。また、高齢者、障害者、女性や子どもにも配慮した避難所運営ができるよう、マニュアルの作成を進めたい。
問 熊本地震ではホテルや空港の駐車場など指定外の場所への避難

難もあり、避難者の把握に手間取り、支援物資も届かなかった。避難者を把握する方法は。
答 指定避難所が地域の情報収集、情報発信の要となるよう避難所の在り方を研究したい。
問 防災訓練でも要援護者の把握方法や椅子子での避難訓練などを行う必要があるのではないか。
答 今後、過去の災害などにおける課題も含め、訓練方法等について検討していきたい。

飯能駅の駅舎内に 西川材利用で飯能の魅力創出を

金子 敏江

問 今年三月、飯能駅南口にムーミン屋敷を連想させる観光トイレが建設され大変喜ばれている。さらに飯能駅駅舎を東飯能駅のように腰板を張り巡らし木のベンチを置いたりして、西川材を沢山使うことにより魅力アップを。特に改札を出て正面のスペースを工夫できないか。駅は人と人との出会いの場、街の顔。森林文化都市としての風格を飯能駅から感じられる取り組みをぜひ検討してほしいが。

答 東飯能駅の木質化については、平成二十一年度の県の補助事業で地元西川材を使用して実施。飯能駅では、昨年十二月にトイレを木質化してきれいになった。駅のコンコースなどの状況を考えると乗降客の方々の手が直接触れるような箇所以西川材を活用することも一つの方策と考える。庁内の関係部署と連携しながら、まずは鉄道事業者からの意見をいただくことから始める。

市議会から国等へ提出

意見書

議員提出議案として提出され、議会の議決を得て国等へ提出したもの。

骨髄移植ドナーに対する支援の充実に関する意見書(抜粋)

骨髄バンク事業では、ドナーの負担軽減に関して様々な取組が行われている。

しかし、ドナーが、検査や入院等で病院に向くなどして仕事を休業した場合の補償は、現在、行われていない。

よって、政府に対し、ドナーに対する支援の充実に関し、次の事項を早期に実現するよう強く要請する。

記

一 事業主向けに策定した労働時間等見直しガイドラインの中でドナー休暇制度を明示するなど、企業等の取り組みを促進するための方策を講ずるとともに、ドナー休暇の制度化についても検討する。

二 ドナーが、骨髄等の提供に伴う入院、通院、打合せ等のために休業する場合の補償制度の創設について検討すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣あて

食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書(抜粋)

世界では全人類が生きるのに十分な量の食べ物が生産されているにもかかわらず、その三分の一は無駄に捨てられている。

よって政府においては、国、地方公共団体、国民、事業者が一体となって食品ロス削減に向けての取り組みを進めるため、下記の事項について早急に取り組むことを強く求める。

記

一 食品ロス削減に向けて、削減目標や基本計画を策定するとともに、食品ロス削減推進本部の設置や担当大臣を明確化する。

二 加工食品等の食品ロスを削減するため、需要予測の精度向上により過剰生産の改善を図るとともに、商慣習の見直しに取り組む事業者の拡大を推進する。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、消費者担当大臣あて



タブレット操作説明会を開催しました



平成28年5月12日(木)に機種変更に伴い、タブレット操作説明会を開催しました。新機種ではクラウドシステムを導入し、より効果的にタブレット端末を使用することが可能となりました。

◆飯能市の先進事例を視察に来られました◆

平成28年度 市町村議会行政視察受入一覧

平成28年7月1日現在

NO	月 日	市町村議会名	人数	視察内容
1	4月19日(火)	東京都昭島市議会 正副議長・代表者	11	・タブレット端末の導入
2	4月20日(水)	佐賀県佐賀市議会 議会運営委員会	11	・タブレット端末の導入
3	4月25日(月)	長野県議会 会派「信州・ 新風・みらい」・中野市議会	3	・飯能住まい制度
4	4月28日(木)	埼玉県伊奈町議会 会派「日本共産党」	3	・通学費補助制度
5	5月13日(金)	福岡県大野城市議会 総務企画常任委員会	10	・シティプロモーション 事業
6	5月18日(水)	佐賀県鳥栖市議会 議会運営委員会	9	・タブレット端末の導入
7	5月20日(金)	北海道江別市議会 議会運営委員会	8	・タブレット端末の導入
8	5月26日(木)	鹿児島県日置市議会 議会運営委員会	9	・タブレット端末の導入
9	5月27日(金)	埼玉県所沢市議会 会派 「自由民主党・無所属の会」	9	・飯能住まい制度
10	5月30日(月)	愛知県知立市議会 会派「知立政策研究会」	3	・タブレット端末の導入
11	6月30日(木)	埼玉県北本市議会 タブレット端末導入会議	10	・タブレット端末の導入

市議会案内板

HANNO

お問い合わせは

議会事務局またはホームページで

TEL 042-973-2686

http://www.city.hanno.saitama.jp



音楽隊が消防団員を激励
(飯能消防団消防操法大会)

審議の日程

6月定例会

- 3日 開会、市長提出議案の上程・提案理由説明
- 7日 議案質疑、議案の委員会付託
- 8日 一般質問
- 9日 一般質問
- 10日 一般質問
- 13日 常任委員会(総務・厚生文教・経済建設)
- 17日 委員長報告・質疑・討論・採決
市長提出追加議案の上程・提案理由説明・採決
議員提出議案の上程・提案理由説明・採決
閉会

議会日誌

4月

- 4日 飯能市議会広報委員会
- 15日 埼玉県都市財政研究会定期総会
- 19日 埼玉縣市議会議長会定期総会
- 25日 代表者会議
- 26日 関東市議会議長会定期総会

5月

- 10日 政務活動費審査会
- 12日 タブレット操作説明会
- 17日 代表者会議
- 18日 埼玉縣市議会議長会第二区議長会定期総会
- 20日 議会改革特別委員会
- 24日 全員協議会
埼玉西部消防組合議会臨時会
- 31日 議会運営委員会
全国市議会議長会定期総会

6月

- 3日 第2回定例会(6月17日まで)
飯能市議会広報委員会
- 14日 議会改革特別委員会
- 17日 飯能市議会広報委員会

◆ 一般質問 ◆

☆インターネットで視聴できます

飯能市議会録画

検索

クリック

☆テレビ放映しています

飯能市議会では、飯能日高テレビの番組で一般質問の様子を録画放映しています。

☆ライブ中継を始めました

平成28年3月定例会から市役所本庁舎1階ロビーにおいて一般質問のライブ中継を始めました。

議会を傍聴しませんか

6月定例会では延べ271名の方が傍聴されました。

次回の9月定例会は
8月26日開会予定です。

会期日程等は8月23日頃内定します。

会議録は次の施設またはホームページでご覧になれます

市役所内:議会事務局(4階)・市政資料コーナー(3階)

* 編集を終えて *

雨降りが続く梅雨、そして、暑い夏。

人間にとっては、つらい季節ですが、植物にとっては一番成長出来る季節。何事も適・不適、是・非があり表裏一体。

民主主義の根幹は議論し、多数決でものごとを決定するのです。多数は少数を、少数は多数を尊重しなければ争いばかりです。

(鳥居)

戸田競艇場開催日(埼玉県都市競艇組合主催分)

8/4~8/8、9/10~9/13

お問い合わせ先

埼玉県都市競艇組合事務局 TEL 048-823-8711

(収益金の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています)

広報委員 (◎委員長 ○副委員長)

◎滝沢 修 ○鳥居誠明 栗原義幸 中元 太
大津 力 野口和彦 新井 巧 平沼 弘